

[専門教育関連科目/健康と健康障害の理解]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
疾病治療論 I	NSF12_005	必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
保坂 稔 他	教員控室	kango	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	疾病の特徴、治療法を理解し、臨床で活用できる知識として身につけることを目標とする。本講義では、臨床的に重要な循環器系、呼吸器系、消化器系疾患について、主要な疾患の理解を深めるとともに、基本的な疾患に対する考え、診断及び診断法、治療法について学習する。また、解剖・生理に関しても復習しながら学習を進める。				
学習上の助言	解剖学及び生理学的な知識・考え方を常に念頭に置いて予習復習を行うことで、より効率的に学習できます。教科書を熟読してから講義に臨むと理解度が深まる。				
教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門分野(2)成人看護学&lt;5&gt; 消化器(系統看護学講座)/医学書院</li> <li>専門分野(2)成人看護学&lt;2&gt; 呼吸器(系統看護学講座)/医学書院</li> <li>専門分野(2)成人看護学&lt;3&gt; 循環器(系統看護学講座)/医学書院</li> </ul> 「3冊指定」				
参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床病態学/総編:北村 聖 他/ヌーヴェルヒロカワ</li> <li>ハリソン内科学/メディカル・サイエンス・インターナショナル</li> </ul>				
① 主な消化器疾患の病態、症状、診断及び治療について理解し、説明することができる			HSU(1)~(3)		
② 主な循環器疾患の病態、症状、診断及び治療について理解し、説明することができる			HSU(1)~(3)		
③ 主な呼吸器疾患の病態、症状、診断及び治療について理解し、説明することができる			HSU(1)~(3)		
④ 消化器疾患、循環器疾患、呼吸器疾患の画像診断について説明することができる			HSU(1)~(3)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	疾病治療論 I 総論 看護学科において疾病治療を学ぶ意義	講義	疾病治療論を学ぶ意義について学習する。次回の講義範囲を予習する。	1	
2	消化器系疾患(1) (担当:保坂)	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	
3	消化器系疾患(2)	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	
4	消化器系疾患(3)	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	
5	消化器系疾患(4)	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	
6	呼吸器系疾患(1) (担当:樫本)	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	
7	呼吸器系疾患(2)	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	
8	呼吸器系疾患(3)	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	
9	呼吸器系疾患(4)	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	
10	呼吸器系疾患(5)	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	
11	循環器系疾患(1) (担当:今野)	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	
12	循環器系疾患(2)	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	
13	循環器系疾患(3)	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	
14	循環器系疾患(4)	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。	1	
15	これまでの学習の総括 (担当:保坂) 試験に向けての復習 (担当:小林)	講義	疾病治療論 I で学んできた講義内容全般を復習する。	1	
試	達成度評価・評価のポイントを参照				

[専門教育関連科目/健康と健康障害の理解]

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		100	0	0	0	0	100	
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80	
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
評価のポイント							フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	定期試験は講義全体について実施する。					試験問題について講義の内容を踏まえて解説する。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
備 考								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本科目における連絡・調整を行う看護教員:小林美雪</li> <li>・当科目は複数の教員が単元ごとに授業を担当するオムニバス形式となっている。</li> <li>・科目担当者は医師免許を持った教員である。</li> <li>・授業時は、通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症のまん延状況などの社会情勢によって、シラバスは再度変更される可能性がある。</li> </ul>								